

学生の社会的活動報告

ひかりの実ワークショップ

生活科学学科 生活環境専攻 2回生 永尾 えみ

11月～12月に金津創作の森で開催された現代アート作家の高橋匡太さんの作品の一つである「ひかりの実」のワークショップに参加させて頂きました。1回目はふくい夢アート2016の夢アートステーションへの来場者に、作家さんが描いた丸の中に思い思いの笑顔を描いて頂きました。2回目は仁愛幼稚園の園児の皆さんに描いて頂きました。私は三歳児を担当しましたが、みんなお気に入りの色のクレヨンで握りしめて元気いっぱいの笑顔を描いてくれました。「おねえちゃん！みてみて！」と園児たちは作品を嬉しそうに披露してくれました。

11月26日、私たちが集めたものとあわら市内の小学生が描いた約3千の笑顔にカラフルなLEDをいれ、金津創作の森の木に飾りました。皆さんが描いてくれた顔は、晩秋の寒空のなかでピカピカと輝いて笑っているかのようにみえました。

地域の皆さんと作り上げる参加型のアート作品は初めてでしたが、ひとりひとりが作品に思い入れを持ち、たくさんの方々が作品を見に来てくれたので大成功であったと思います。今回貴重な体験をさせて頂いたことに感謝したいと思います。



完成したひかりの実で「はいチーズ！」

レッサーパンダ「メガメガとウルウル」のほめほめLINEスタンプ制作

生活科学学科 生活環境専攻 2回生 笹岡 美玖

昨年に引き続き、小林大伸堂さんからの依頼で鯖江市指定動物のシンボルである、レッサーパンダ「メガメガとウルウル」のLINEスタンプ制作を生活環境専攻の2回生9名と生活デザイン専攻の1回生4名の有志が取り組みました。今回はほめるスタンプをテーマに8月からデザイン案を練りました。「いい感じ！」や「優しいね」など約80のラフスケッチ案をイラストレーターというソフトを使ってデザインし、66個に絞りました。実際にLINEスタンプになるのは40個で、色や線の太さ、全体の大きさなどの調整を何度も重ねて、完成に向けて頑張っています。昨年参加したときは1回生で、イラストレーターを使いこなせず2回生の先輩方に教えていただきましたが、今回2回生での参加で昨年とは違い、イラストレーターを扱う技術は授業などを通して学んでいたもので、改めて依頼をこなす大変さや難しさを感じました。ですが、テーマに沿ったデザインに仕上がった時は達成感を得ることができました。



ぜひ、福井県民だけではなく、県外の人たちにもこのほめほめLINEスタンプを使っていただけたらと思います。そして、スタンプを通して鯖江に興味を持ってもらいたいです。

ネパールでのボランティア活動

生活科学学科 生活情報専攻 1回生 水上 百華

2月15日から2月22日の1週間、ボランティア活動のためネパールを訪れた。この活動に参加したきっかけは、澤崎先生の研究室前に掲示されたネパールの様々な写真を見たことである。ボランティア等で社会に貢献できないか、自分の価値観を広げたいと思い、先生にネパールに行きたいという思いを伝え、こうして実現することができた。

飛行機を乗り継ぎ、約1日かけて到着。車に乗り最初の拠点であるサンガの銀杏旅館に移動した。屋上から見る景色は写真で見たものよりも遥かに綺麗で、風当たりもよく素晴らしかった。初日は支援物資の仕分け等で終了。ネパールでの初めての夕食はダルバート。カレー風味なので日本人に合うと感じたが、なかなか辛かったのが印象的だった。

翌朝はチベットとの国境付近にあるラムチェ村に数時間かけて移動。到着後すぐに小学校へ向かった。子どもたちが私たちを待っており、歓迎セレモニーをしてくださった。その後、支援物資を配布した。子どもが恥ずかしそうにニコッと笑う姿がとても可愛かった。子どもたちの嬉しそうな表情にこちらまで嬉しくなった。村ではテントを張り寝床を作った。キャンプ経験もなくもちろんテントで寝るのも初めてだった。夕食はダルバートと有精卵の卵かけごはん。濃厚でとても美味しくいただいた。夜は、子どもと一緒に音楽に合わせて陽気に踊った。掛け声し

たり手拍子したりとみんなが笑顔で溢れており楽しいひとときを過ごした。

そしていよいよ授業当日。まずはシャボン玉で子供たちと交流。その後二手に分かれて教室に入り授業開始。ネパール語で挨拶をして、子どもたち一人一人に名前を聞いて回った。まずは福笑いをを行い、大きな声ではっきりとネパール語で顔のパーツを言いながら、日本語でも教えた。身振り手振りでお手本を見せると興味津々な様子だった。子どもたちは次々と「私も!」と前に出てきて、楽しそうな表情を見せてくれて一安心だった。少し不格好な顔になったら、子どもたちは大きく笑っている。私もその笑顔につられて大きく笑う。楽しんでくれているのがとてもよく伝わってきた。福笑いに続き、日本の紹介をして、お菓子を配った。授業が終わり教室を出ていくとき、私の名前を呼んで笑顔で「ありがとう」とたくさん言ってくれた。隣の教室が終わるのを待っていても、窓からのぞき込んで「ありがとう」と何回も何回も言ってくれ、私はここに来た意味があったと思うことができた。

ネパールボランティアでは、新しい発見がたくさんあった。そして私たちの当たり前は当たり前ではないことも思い知らされた。道が平らなことや、信号があること、トイレトペーパーを流せること、お風呂があること、学校に行けること。改めて日本は不自由しない豊かな生活をしているのかがわかった。日本に戻って、こんな豊かな生活をしていいのだろうかとも思った。だが、幸せの形が違っただけでありネパールの人たちは幸せなのだろうと感じた。筋田さん、ミナちゃんをはじめ、関わってくださった皆様、そして同行して下さった先生、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



栄養研究サークル

生活科学学科 食物栄養専攻 2回生 清水 彩永

大学連携センターFスクエアオープニングフェスティバル（4月9日）、県総合グリーンセンターでのフラワーグリーンフェア（6月5日）、森田地区文化祭（10月16日）にて栄養研究サークル伝統のパウンドケーキの販売を行いました。また、福井市からベジガールズに任命され、福井市健康フェア・食育フェスティバルで食物栄養専攻2回生考案の野菜を使ったレシピ集を配布したり、10月2日にハピリンホールで「ベジファースト」宣言をして、まず野菜から食べる運動の推進などをしました。

売り物のパウンドケーキを綺麗に焼かなければいけないという責任感やなるべく早くケーキを焼く技術、人前に出て喋ることに対する難しさを学ぶことができました。

とにかくパウンドケーキを焼くのが大変でした。でも、お客さんが買ってくださるのを見ると、作ってよかったなと思いました。また、ベジガールズとしての活動は初めてで短い期間で色々なことを体験することができました。まだまだベジファーストを知らない人がたくさんいるので、その人達にも知ってもらえるように、今後も活動していってもらいたいです。



じんあいこどものくに

幼児教育学科

日時:平成28年10月15(土) 9:30~16:00

会場:仁愛女子短期大学 E館

幼児教育学科では、毎年の大学祭において子ども向けのアトラクションを集めた「じんあいこどものくに」と題する企画を催しています。この企画は、学生が主体となって子どもたちが楽しめる遊び場を企画・準備・実践する学びの機会として位置づけられています。ここでは、今回の取り組みの内容についてご紹介します。

【クラス別開催内容】

- 1Aクラス ハローウィン
～おばけたちの愉快的パーティー～
- 1Bクラス お楽しみ劇～にじいろのはな～
- 1Cクラス おまつり
- 2Aクラス 妖怪GO!
- 2Bクラス 迷路
- 2Cクラス バルーンアート

【学生の感想】

◎幼児教育学科1回生 坪川 まゆ

私たちのクラスは「劇：にじいろのはな」をしました。私はクラスの実行委員で、この劇のシナリオも書きました。クラスで準備をする時間が少なく大変でしたが、前日になるとクラスの皆が協力して、アイデアを出し合って頑張ってくれました。実行委員の仕事まで手伝ってくれた子もいました。当日は多くの子どもたちが劇を楽しむ姿を見て、温かい気持ちになりました。

子育て応援団「すこやかふくい2016」

幼児教育学科 2回生 小林 千尋

日時:平成28年11月26日(土)・27日(日)

私は「すこやかふくい2016」で総合司会をさせていただきました。ステージ発表では、「おもちゃのチャチャチャ」を発表しました。みんなで振り付けを考え、何度も練習をしました。練習を重ねることで、より良い発表になっていくのだと学びました。

総合司会は、大勢の前で話すことができ良かったと思います。保育者になると大勢の前で話す機会が多くなるので、ここでの経験を活かしていきたいです。ステージ発表、総合司会で得たことを様々な所で発揮していきたいです。

学生の社会的活動報告



◎幼児教育学科 2回生 池谷 侑紀

私たちのクラスは「妖怪GO!」の中で昔遊びと子どもたちの好きなアニメキャラクターを掛け合わせた遊びを行いました。時にクラスの皆で意見が食い違うこともありましたが、来てくれた子どもたちの笑顔が見たい一心から一人一人が精一杯活動を行うことができました。子どもたちだけでなく、保護者の方も一緒に昔遊びを楽しんで下さる姿を見ることができて、不安だったことや大変だったことも忘れてしまうくらい嬉しかったです。